

福島県PTA連合会



PTA ふくしま 第127号

県P連活動スローガン

子と親が 共に育つ PTA 活動を

編集：調査広報委員会

印刷：株式会社第一印刷

●県P連会長あいさつ

新しい未来への第一歩

福島県PTA連合会 会長 相田 知津子



日頃より福島県PTA連合会の活動にご理解ご協力の程、誠にありがとうございます。このたび、福島県PTA連合会の会長に就任いたしました。福島県PTAが発足以来初の女性会長となります。大変、名誉なことであり、引き締まった気持ちでこの責務を全うしていく所存です。

さて、コロナ禍を乗り越え、昨今の少子化の波の中で、PTAの存在意義についても考える時期にきております。子どもたちにとって何が大切かを考え、今後の活動の見直しを行い、ウェルビーイングの実現に向けて邁進していきたいと考えております。

本会の活動としては家庭、学校、地域が連携し、情報発信や学びの場を提供し、会員の皆様と学びを共有し、また単位PTAや郡市P連間でも交流し合い、PTAの存在意義を高めながら、活動することが最大のねらいであります。今年度も引き続き、郡市P連会長からお寄せいただいた要望などを集約し、県教育庁への要望活動も行っておりまして、参ります。

令和10年度にはこの福島にて日本PTA全国大会が開催されることとなりました。今年度から準備委員会も立ち上げます。その盛り上がりの中で、会員の皆様と共にさらに進化し、より身近で役立つ連合会を創り上げていければ幸いです。

福島県PTA連合会の会員一同が団結し、福島の未来を担う子どもたちのために、共に頑張って活動して参りましょう。どうぞ今後とも、皆様の変わらぬご支援ご協力の程、何卒宜しくお願いいたします。

研究大会の学びを広げよう

第73回福島県PTA研究大会 会津若松大会のお知らせ

日 時：令和7年10月11日(土) 受付12:00
13:00～16:40(全体会、記念講演、分科会)
会 場：會津風雅堂 他
大会主題：ともに学び、ともに創る「温故創しん」PTA
～未来を担う子どもたちと私たちの
ウェルビーイング実現に向けて～
記念講演：講師 渡部 潤一 氏(天文学者)
演題 「日本人は月や星をどう愛でてきたのか」

●前回参加者の声

記念講演は、生きることの「価値」や「意味」をどこに見出し、かけがいのない「命」とどう向きあっていったらよいかについて、あらためて考えを深めることができました。玄侑宗久先生のご示唆を、子どもたちが躓き、苦しんでいるときの関わり方に生かしたいです。



R6年度郡山・田村大会

第73回日本PTA全国研究大会 石川大会のお知らせ

日 時：令和7年8月22日(金)、23日(土)
大会主題：「サステナブルな未来づくりのために」
～創造と協働を 石川から～

第57回日本PTA東北ブロック研究大会 仙台大会のお知らせ

日 時：令和7年9月13日(土)、14日(日)
大会主題：仙台で織りなす「未来」
～居場所を創る S.D.G.s プロジェクト～



ふくしまっ子子ども総合補償制度は安全互助会補償制度の上乗せ補償として任意にご加入いただける制度です。
安全互助会補償制度の詳細は、福島県PTA連合会ホームページをご覧ください。

お子さまの大きなケガ、ごめんなさいで済まない事故

大切なお子さまを守るための保険です。

ふくしまっ子子ども総合補償制度

(小・中学生総合補償制度)

～2025年度加入受付中～



上記、二次元コードより
WEB 申込が可能です。

共栄火災海上保険株式会社

東北支店福島支社 〒960-0231 福島県福島市飯坂町平野字三枚長 1-1
TEL (024)554-3006 25-0402

おめでとう
ございます!

第60回 福島県PTA広報紙コンクール

令和7年度コンクール結果《◎印全国推薦(全国コンクールに出品)》

◆最優秀賞

- ◎清明小学校
「せいめい」
- ◎西郷第一中学校
「かしわ」

◆優秀賞

- 喜多方市立姥堂小「あぜみち」
- 喜多方市立上三宮小「いいで」
- 郡山市立芳山小「かおりの園」
- 福島市立南向台小「みなみ風」
- 福島市立三河台小「六華」
- 福島市立福島第四中「さかみち」
- 福島市立平野中「SAZANKA」
- 福島市立福島第一中「SUZUKAKE」

◆入選

- 福大附属小「おさらぎ新聞」
- 伊達市立保原小「こだま」
- 会津若松市立一箕小「はばたき」
- 会津若松市立第一中「あおい」
- 柳津町立会津柳津学園中「篤筆」

福島市立清明小学校「せいめい」



保護者と先生の会 代表 渡部 彰

この度は、栄えある最優秀賞という大変光栄な賞を賜り、心より感謝申し上げます。広報誌「せいめい」は、広報スタッフ全員で意見を出し合い、地域や学校、保護者との繋がりを大切に、温かみのある紙面づくりを心がけてまいりました。今後も清明小学校の魅力を丁寧に伝え、笑顔が広がる広報活動を目指して、広報スタッフ一同「みんなとともに」力を合わせて取り組んでまいります。

西郷村立西郷第一中学校「かしわ」



PTA 会長 塩谷 慎介

この度は、最優秀賞という名誉ある賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。紙名の「かしわ」は村の木や校章にもなっており、親しみのある木です。生徒たちの様子や行事の写真をふんだんに使い、配色やレイアウトを工夫し、まさしく「かしわ」のように親しみのある紙面になっていると思います。

これも時間をやりくりしながら、よりよい紙面をと注力いただいた広報委員の皆さんの努力の結晶です。広報委員の皆さん、本当にありがとうございました。

各郡市 P連から

子どもたちの健やかな成長のために、皆で手を携え進んでいきましょう。



各郡市P連の紹介

- 1 座右の銘
- 2 熱中していること
- 3 地区P連のPR

福 島

二階堂 義樹
(福島四中)



1. 情けは人の為ならず
2. oasis 再結成
3. 市連P会長2年目です。常に初陣!! 各単Pと連携しながら多様な価値観を認め合い、支え合える関係を大切にします。皆さんの出会いに感謝し、共に前向きに進んでいきます。

伊 達

加藤 元晴
(桃陵中)



1. 一期一会
2. 高校野球・大学野球・プロ野球観戦
3. 伊達市は、伊達氏の発祥地であり、名峰霊山や紅屋峠千本桜など自然や歴史のある街です。地域の皆様と協力し、生まれ育った街を大切に思ってくれる子どもたちを育てたいと活動に励んでいます。

郡 山

橋本 裕
(小原田中)



1. 難き方を選ぶ
2. お土産を買うこと
3. 郡山市P連は会員数が多く活発に活動している。単会会長同士の交流を図り、情報の共有と連帯感を高め、多くの課題に楽しく前向きに活動できる環境を作りだすことで、子どもたちの支援に繋げていきたい。

石 川

吉田 直人
(小平小)



1. 努力は人を裏切らない
2. 柔道指導
3. 生徒たちの明るい未来のために学校との連携を図ってもらえるようPTA活動を楽しみ運営していきます。今年一年よろしく願いいたします。

川 俣

黒澤 良太
(川俣小)



1. 実るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな
2. 全力子育て
3. 川俣町PTAでは、子ども・小・中学校と連携を取り、保護者と先生の親睦を深めるレク大会や子どもとPTAと一緒に学ぶ研究協議会の開催等を行っています。みどりの中に光る絹の町川俣で、我々PTAはこれからの川俣町を担う子どもたちの為、元気に活動していきます。

安 達

佐藤 尚史
(二本松南小)



1. 魚心あれば水心
2. ゲーム
3. 何をやるのかよく分からない状態で、大仰な役を頂いた状況ですが、自分を支えてくれる家族を大切にしながら「子どもたちのためにできることを、できる人が、できる範囲で」可能な限りよりよい活動になるように努めていきたいと思っています。

岩 瀬

寺下 賀博
(須賀川一小)



1. 手を抜け、気を抜くな
2. ライブ鑑賞
3. 東西に細長い岩瀬地区は、小都市から山間部まで各学校の特色が色濃いいエリアです。各学校が連携しながら、子どもたちの多様性が育つよう縁の下で支えていきたいと思っています。

田 村

松本 良太
(大越小)



1. すぐやる
2. キャンプ、和太鼓演奏
3. 田村地方は、標高が高く自然豊かな高原都市です。日本三大桜の滝桜をはじめ多くの桜、文化財など歴史ある地区です。学校、地域と一体となり大人もPTA活動を通し子どもと学び、より良い環境づくりを目指します。

令和7年度福島県PTA連合会役員

会 長	相田知津子	南会津(田島中)	〃	塙 広治	相馬・事務局長(鹿島中)
副 会 長	渡辺 真紀	福島(信陵中)	〃	丹 孝平	いわき・事務局長(中央台南小)
〃	出川 正人	安達(二本松一中)	評議員・研修委員理事	大内 沙織	福島・副会長(岡山小)
〃	橋本 裕	郡山・会長(小原田中)	〃	有馬 尚子	郡山・副会長(大槻中)
〃	宮森 大典	会津若松・会長(若松一中)	〃	山田真由実	会津若松・家庭教育部会長(若松一中)
〃	野木 和洋	いわき・会長(内郷一中)	〃	白石 香	いわき・研修委員長(湯本一小)
〃	関根 巨樹	東白(鮫川中)	評 議 員	佐々木信晴	川俣・事務局長(川俣小)
〃	伊藤 佳枝	相馬(尚英中)	〃	遠見 年成	伊達・事務局長(桃陵中)
〃	小野 真教	福島県小学校長会長(清明小)	〃	太田 孝志	安達・事務局長(二本松南小)
〃	菅野 浩智	福島県中学校長会長(福島三中)	〃	柿沼 孝明	岩瀬・事務局長(須賀川一小)
監 事	江藤 大裕	郡山・副会長(郡山三中)	〃	高宮 秀徳	石川・事務局長(小平小)
〃	松浦 健典	会津若松・副会長(若松五中)	〃	坂内 清昭	田村・事務局長(大越小)
〃	鯨岡 佳弘	いわき・副会長(小玉小)	〃	大竹 孝喜	西白・事務局長(白河二中)
評議員・理事	二階堂義樹	福島・会長(福島四中)	〃	古川 潔	北会津・事務局長(猪苗代二小)
〃	黒澤 良太	川俣・会長(川俣小)	〃	横山 泰久	耶麻・事務局長(喜多方一中)
〃	加藤 元晴	伊達・会長(桃陵中)	〃	佐藤 盛俊	両沼・事務局長(会津柳津学園中)
〃	佐藤 尚史	安達・会長(二本松南小)	顧 問	鈴木 崇史	西白(白河二中)
〃	寺下 賀博	岩瀬・会長(須賀川一小)			
〃	吉田 直人	石川・会長(小平小)			
〃	松本 良太	田村・会長(大越小)			
〃	鈴木 健一	西白・会長(白河二中)			
〃	塩田 綾子	東白・会長(棚倉中)			
〃	渡部 一登	北会津・会長(猪苗代二小)			
〃	長谷川賢次	耶麻・会長(喜多方一中)			
〃	目黒 照枝	両沼・会長(会津柳津学園中)			
〃	磯部 祐樹	南会津・会長(旭田小)			
〃	鎌田 博信	相馬・会長(鹿島中)			
評議員・会長代理理事	佐藤 秀敬	双葉・事務局長(葛尾小)			
評議員・事務局長理事	小松 信哉	福島・事務局長(杉妻小)			
〃	小林 雅	郡山・事務局長(郡山三中)			
〃	川上 一美	東白・事務局長(棚倉中)			
〃	原 孝行	会津若松・事務局長(若松一中)			
〃	稲本 泰彦	南会津・事務局長(旭田小)			



西 白 河

鈴木 健一
(白河二中)



1. 頑張りすぎないように頑張る
2. 息子のテニスの応援
3. 単P・市連P・郡P 連いづれにおいても全ては子どもたちの為の活動と捉えております。皆様の負担が少しでも減るよう連携しながら進めて参りたいと思います。

会津若松

宮森 大典
(若松一中)



1. 挑戦
2. スポーツ(観戦)
3. 磐梯山と鶴ヶ城を望む、歴史と伝統の街会津で、10月11日(土)福島県PTA研究大会が行われます。より多くの方のご参加を心待ちにしております。会津でお会いしましょう！

耶 麻

長谷川 賢次
(喜多方一中)



1. 一期一会
2. テニス、ドライブ
3. 子どもたちが安心して遊び、成長できる環境づくりを目指します。特に、子どもたちはデジタルツールを日常的に使用しており、その利用に対して適切なメディアコントロールが出来る様に保護者の皆さまや先生方と共に活動し、健全育成に繋がっていききたいと思います。

南 会 津

磯部 祐樹
(旭田小)



1. 失敗と後悔は財産である
2. ドライブ、サッカー
3. 南会津地区は県内でも少子化が進んでいる地域なので、子どもたち一人ひとりと向き合える機会と捉え学校と保護者が協力して子どもたちの明るい未来につながる活動をしていきたい。

双 葉

事務局長(代表)
佐藤 秀敬
(葛尾小 校長)



1. 初志貫徹
2. 乗馬
3. 双葉郡の学校は、少人数教育で、ふるさとに根差した教育活動、児童・生徒たち、保護者ともに「通いたい」「通わせたい」と思えるような魅力的な学校づくりのための取組を進めているところです。現在、双葉郡として組織的な活動はしていませんが、PTA活動を通して、学校、家庭、地域が子どもを真ん中にしてコミュニケーションをとれるよう力になっていきたいと思います。

東 白 川

塩田 綾子
(棚倉中)



1. ローマは一日にして成らず
2. 子どもが頑張っていることを応援すること、推し活、スポーツ観戦
3. 自然豊かで人と人の繋がりを大切に地域密着で子どもたちの成長を見守っている東白川で、皆のびのびと心豊かに育っています。小さな地域だからこそ連携を図り、チームワークで子どもたちの明るい未来の為にPTA活動を進めていきたいと思います。

北 会 津

渡部 一登
(猪苗代二小)



1. 進取果敢
2. サウナ
3. 北会津は会津仏教発祥の地 慧日寺や野口英世博士・雄大な磐梯山や母なる湖 猪苗代湖など、歴史や文化自然豊かな恵まれた環境の地区です。その中で育まれた子どもたちは地域の宝であり、その宝をPTAとしてしっかりとサポートしていきます。

両 沼

目黒 照枝
(会津柳津学園中)



1. 凡事徹底
2. 地域活性化活動
3. 両沼地区は豊かな自然と独特の文化を有する農山村地域です。少人数の学校が多くあり、子どもと保護者の存在は地域の中でも重要です。また、親子で地域に関わる機会も多いです。学びながら成長するPTAを目指して活動していけたらと思います。

相 馬

鎌田 博信
(鹿島中)



1. 「ま、いっか！でも、ちゃんとする！」
2. 合唱・ゴルフ
3. 相馬の未来を育むPTA、小中学校の壁を超え、知恵と経験を共有する。子どもたちの笑顔のために活動のヒントや課題を語り合い、新たな連携により良い教育環境を創造する準備の場としたい。

い わ き

野木 和洋
(内郷一中)



1. 頼まれごとと試されごと
2. サッカー
3. いわきFCの応援
3. 単P数90を数えるいわき市においては、地区ごとに様々な課題を抱えた中でPTA活動を展開しています。課題解決にむけては、各地区代表の方連P会長の皆さんと意を一つに、ふるさとといわきで学ぶ全ての子ども達のために何事にも真剣に向き合う「大人のせなか」を見せ続けることを合い言葉にしていきたいと思います。

令和7年度 主な行事予定

月	日	主な行事
6	6(金)	第1回評議員会・懇談会
7	1(火)	会報第127号発行
	2(水)~7(月)	三行詩コンクール二次審査
8	5(火)	R10 全国大会準備委員会
9	3(水)	県教委要望活動(懇談会)
10	11(土)	県研究大会会津若松大会(表彰式)
11	7(金)	家庭教育セミナー・小中懇談会
12	1(月)	会報第128号発行
	2(火)	日本PTA 年次表彰式
1	8(木)~21(水)	子ども災害事故防止習字・ポスター展募集
2	7(土)	習字・ポスター展示会~3.8(日)
3	1(日)	会報第129号発行 研修委員会だより第18号発行



昨年度：家庭教育セミナー

○実際に不登校の子どもと数多く接してこられた現場目線の経験談がとても参考になりました。

○班で話し合う機会もあり、参加者の様々な考えを聞くことができ、具体的にやってみようという気持ちになりました。

お知らせ 福島県PTA連合会ホームページ

<https://fukushimaken-pta.jp>

- ①今年度の「福島県PTA研究大会」や「東北ブロック研究大会」「日本PTA全国研究大会」のテーマや内容を掲載しています。全国研究大会は石川県で開催します。よい機会なのでぜひご参加ください。
- ②「三行詩コンクール」や「子ども災害事故防止習字・ポスター作品展」、「郡市P連」などの情報も掲載しています。
- ③これまでに発行した会報誌(会報「PTAふくしま」「研修委員会だより」)や、ケガや事故、賠償事故にも対応する「福島県PTA安全互助会保証制度」「ふくしまっ子子ども総合補償制度」の説明(一部動画も有)もご覧になることができます。併せてご利用ください。
- ④令和7年度の新組織もアップしています。どうぞご活用ください。

事務局次長就任ご挨拶

4月より、福島県PTA連合会事務局次長としてお世話になっております佐藤浩昭です。3月まで、福島市の小学校で勤務していました。これまで、子どもたちの教育・成長にかかわることができたことを幸せに思っています。

保護者の皆様、先生方と力を合わせ、県・各都市・各校PTA活動が充実し、子どもたちのよりよい成長につながるよう、微力ではありますが責務を果たすべく尽力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



事務局紹介

総務部長	佐藤 秀克	岳陽中学校長	庶務部長	富田 貴俊	南向台小学校長
研修部長	丹治 達也	瀬上小学校長	広報部長	栗城 敏彦	平石小学校長
会計部長	荒川 信一	蓬萊小学校長			
事務局長	横山 貴英	事務局次長	佐藤 浩昭	事務局	酒井 香代子

安全互助会から

★事故が発生した場合の事故報告方法

(R6.4.1よりコールセンターへの電話受付を開始)

- 保護者が保険会社専用事故報告コールセンターへ事故の連絡をする際は学校に「学校番号」「事故報告専用コールセンター」の電話番号を確認してください。
- 従来どおり学校に連絡し、傷害事故報告書/賠償事故報告書を提出する方法も受付可能です。

～主な補償内容として～

【児童・生徒のケガ】

学校の管理下外での急激かつ偶然な外来によるケガを補償します。

- 学校管理下外の登下校中、学校休業日の部活動中のケガ、スポーツ少年団(学校教員以外が指導する活動)の活動に参加中のケガも補償対象となります。
- 自転車で転倒した、自動車にはねられてケガをした場合も補償対象となります。
- 低温やけど、腱鞘炎、疲労骨折など急激かつ偶然な外来の事故以外は補償対象外
・児童生徒の医療費が無償化となっていますが、この補償制度は医療費とは別に支払われる保険ですので、ご請求ください。

【PTA会員のケガ】(含む児童・生徒)

PTA会員が、PTA主催・共催行事に参加しているときの急激かつ偶然な外来の事故によるケガ(食中毒を含む)及び偶然な外来の日射・熱射による身体の傷害を補償します。

- PTAの奉仕作業中、PTA球技大会の練習中のケガ、PTAの行事に参加するための往復途上のケガなども補償します。
・入院、通院の場合、治療期間が1日から対象になります。
・保険請求の際にはPTA行事の資料(開催日が記載された文書)を添付してください。

【児童・生徒の賠償事故】

日常生活における児童・生徒の行為によって生じた偶然な事故(ただし、学校管理下中の事故で、学校側に管理責任がある場合は対象外)により、児童・生徒・親権者が他人に法律上の賠償責任を負った場合の補償となります。

- 自転車遊びをしていて転び、停車中の車に傷をつけてしまった、自転車で他人にケガをさせてしまった。
- 学校の休み時間中に誤って教室のガラスを割ってしまった。(学校側の管理に責任がない場合)
- 学校の休み時間中(学校側の管理に責任がない場合)や学校管理下外にて他人の(メガネ等)相手側の物を壊してしまった。
※保険の申請は加害者からとなり、損壊者が断定できない場合には非該当となる事もあります。

【PTA会員の賠償事故】

PTA活動中に偶然な事故により、他人の身体の障害、または財物の損壊についてPTAが法律上の賠償責任を負った場合の補償となります
PTA活動を行うために他人から借り受けた財物を使用・管理している間、PTAの構成員であるPTA会員・児童・生徒が損壊・紛失または盗取されたことによりPTAが法律上の賠償責任を負った場合の補償となります。

- PTAが奉仕作業中(草刈り等)誤って車のガラスに傷をつけてしまったなど。

※賠償事故については、いろいろなケースがありますので(事故当時の状況等も含め)、ご不明な点はお問合せください。

問合せ先 共栄火災海上保険株式会社 東北支店 福島支社

電話 024-554-3006

詳しい案件については補償制度のご案内をご覧ください。

●編集後記

「PTAふくしま」第127号発行にあたり、原稿をお寄せくださった皆様に心より御礼申し上げます。各都市P連の紹介や広報紙コンクール最優秀賞受賞校記事、今年度の各研究大会(福島県、東北、全国)・県連Pの主な行事予定も掲載しております。福島県PTA連合会の活発な活動状況を皆様にお伝えできたのなら幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。